

燕市イキキまちづくり事業活動報告書

団 体 名	四箇村まちづくり協議会	代 表 者	長谷川 祐二
事 業 の 名 称	楽しく学ぶ地域の歴史講座	総 事 業 費 (予 算 額)	145,280 円
事 業 区 分	まちづくりコミュニティ事業	助 成 金 額 交 付 額	120,000 円
事 業 の 目 的	事 業 の ターゲット	四箇村地区および近隣住民	
	ターゲット への効果	幅広い年齢層から郷土の歴史や文化に興味・関心をもってもらう。	
事 業 経 過	実施期間	令和 3 年 4 月 9 日(金)～令和 4 年 3 月 25 日(金)	
	実施 スケジュール	<p>【令和 3年】</p> <p>4月 9日(金)第1回企画委員会 事業計画・予算・役割分担の審議</p> <p>7月23日(金)第2回企画委員会</p> <p style="padding-left: 2em;">第13回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」の企画</p> <p>7月30日(金)分水北小学校を訪問</p> <p>8月19日(木)第3回企画委員会 プレ発表会</p> <p>8月26日(木)第13回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>9月17日(金)第4回企画委員会</p> <p style="padding-left: 2em;">第14回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」の企画</p> <p>10月14日(水)第5回企画委員会 プレ発表会</p> <p>10月22日(金)第14回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>【令和 4年】</p> <p>2月 4日(金)第6回企画委員会 事業の反省</p> <p style="padding-left: 2em;">イキキまちづくり事業報告書の審議</p> <p>3月25日(金)第7回企画委員会 事業報告書の最終審議</p> <p style="padding-left: 2em;">次年度の構想審議</p>	
事 業 の 内 容	<p>(1) 第 13 回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>①実施日時と会場</p> <p style="padding-left: 2em;">令和 3 年 8 月 26 日(木) 19:00～20:30</p> <p style="padding-left: 2em;">四箇村ふれあい館内アリーナ</p> <p>②テーマとその内容</p> <p>「お寺と民衆のつながり」を大テーマとして、まず、江戸時代初期の寛文年間に、お寺と民衆が檀那寺と檀家という関係でつながった檀家制度の内容と目的を明らかにした。そしてどの寺の檀家になるかを決める際、最も有力な決め手として出身地が同じであったという仮説を立て、真宗寺院と門徒が、いつ、どこから、どのような事情で越後へ大移動したのを、史資料を効果的に使って論証した。</p> <p>(2) 第 14 回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>①実施日時と会場</p> <p style="padding-left: 2em;">令和 3 年 10 月 22 日(金) 19:00～20:30</p> <p style="padding-left: 2em;">四箇村ふれあい館内研修室</p> <p>②テーマとその内容</p>		

燕市イキイキまちづくり事業活動報告書

	<p>「お寺と民衆のつながり」を大テーマとした2回目として、四箇村地区に檀家を持つ数ヶ寺の真宗寺院が、戦国末期から江戸初期にかけて北陸や北信濃から門徒と一緒に進出してきた事実と進出の背景を、いくつかの古文書から具体的に論証した。次に、蒲原郡に多くの真宗寺院が進出してきた事実に着目し、かつてこの地は大湿地帯であったことを永禄6年（1563）の古地図や古文書から確かめ、真宗門徒や真宗寺院にとってこの地は開発・発展の余地がある魅力的な場所であったことも明らかにした。</p> <p>（3）第2回「親子で学ぶ地域の歴史講座」 両小学校から、実施の可否について連絡がなかったため今年度の実施を見送った。</p>			
<p>当日の流れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座開催に向けて、プレ発表会を含む企画委員会を計7回行い、本番に備えた。 ・参加者の関心を高めるため、地元や近隣に残る貴重な史資料を用いた。 ・パワーポインターを用いて、わかりやすく効果的に説明することに心がけた。 ・最大限のコロナウィルス感染防止対策を講じて実施した。 			
<p>事業の成果</p>	<p>参加者数</p>	<p>一般参加者延べ 42 人</p>	<p>実施回数</p>	<p>2 回</p>
<p>自由記述</p>				
<p>別紙参加者アンケートの結果、「興味をそそられる古文書や古地図などの史資料」、「知らなかったことが解き明かされるおもしろさ」、「講師のわかりやすい説明と話術」に魅力を感じている方が回答者の7割を超え数値目標の8割に迫った。自由記述でも、高評価をいただいた。</p> <p>講座の開設以来、単なる史資料の解説ではなく、貴重な史資料を効果的に使って、知らなかったことが解き明かされるおもしろさを追求するという方針が実を結びつつある。</p>				
<p>今回の反省点及び今後の対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での実施ではあったが、延べ42名の方々から参加いただいた。高い関心をもって参加してくださる多くの方々に支えられ、やりがいを感じている。 ・若い世代から参加してもらえる企画やPRの方法を工夫する必要がある。 ・第2回「親子で学ぶ地域の歴史講座」が実施できなかったことは残念であった。感染拡大で保護者参観さえできない状況であることは伝聞しており実施は困難と推測していたが、そうであっても要請に対して明確な意思表示をしてほしかった。 ・企画委員の負担軽減と地域の歴史伝道者を育成するために、企画委員への新加入をPRし、まちづくり協議会や自治会にも要望したい。 			

燕市イキイキまちづくり事業活動報告書

活動PR等 (自由記述)	<p>平日の夜間開催、しかも今年度はコロナ禍での開催となりましたが、多くのリピーターからお出でいただきました。また、毎回、初めての参加者が数名いらっしゃいます。参加者の広がりを感じます。これは、史資料の単なる解説や古文書の読解講座ではなく、郷土に残る貴重な史資料を効果的に使って、参加者が問題意識を高め、それが解き明かされるおもしろさを感じることができるよう展開に工夫を凝らしている成果だと思います。これが参加者の支持を受け、長く続いている理由です。</p>
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

